

国史跡等の追加指定について

平成30年11月16日（金）に開催された国の文化審議会において、史跡 七尾城跡等に追加指定を行うよう、文部科学大臣に答申がなされた。

- 1 史跡 七尾城跡（ななおじょうあと）

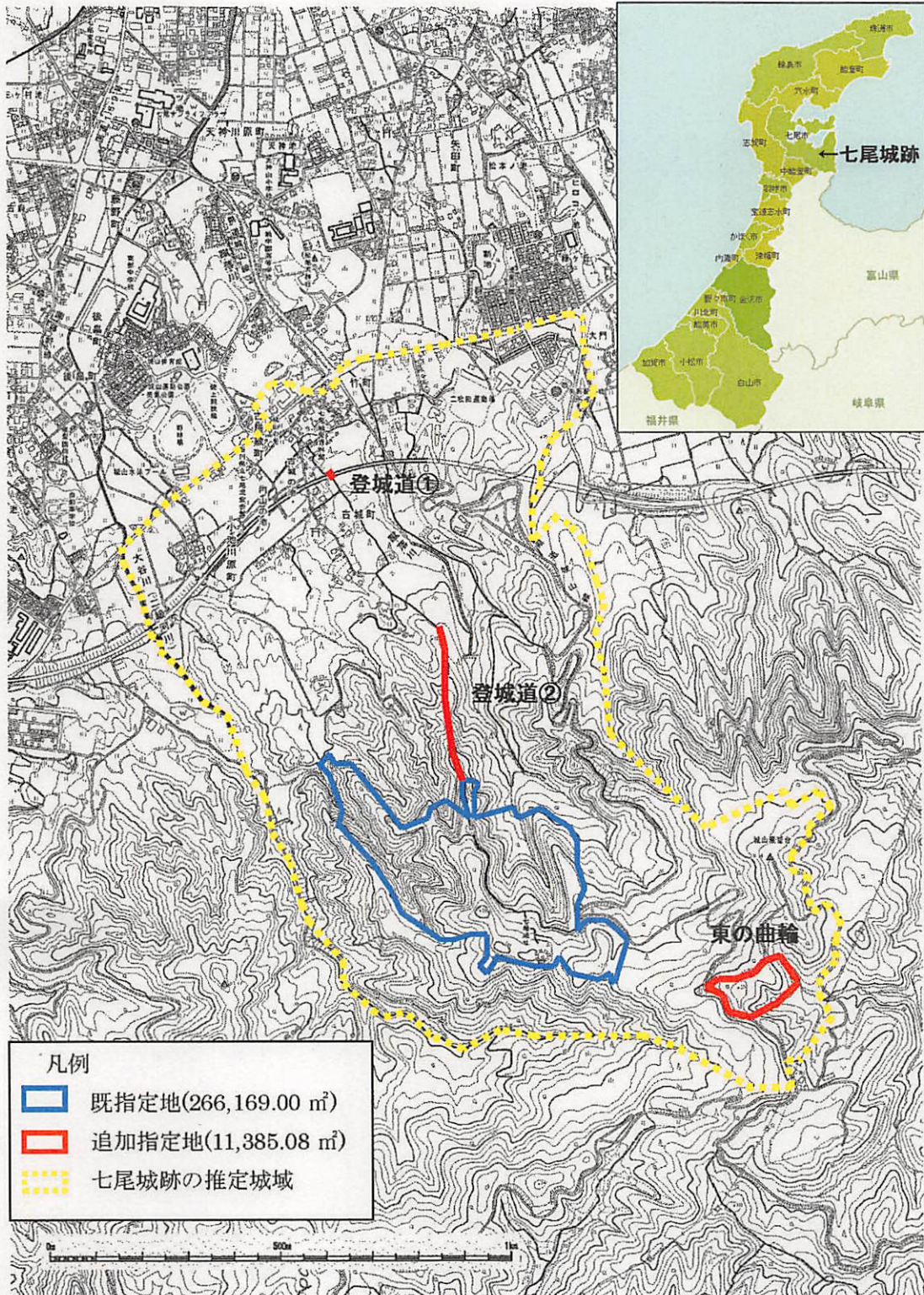
種別	史跡（昭和9年12月28日指定、平成23年2月7日追加指定）
所在地	七尾市古府町竹町古屋敷町入会大塚14番1ほか
面積	277,554.08㎡（既指定266,169.00㎡ 追加指定11,385.08㎡）
所有者	個人、七尾市、国
概要	七尾市街地南東の尾根筋に位置する。能登国守護職であった能登畠山氏が戦国時代に築いた大規模な山城である。今回は、登城道や城域の東の守りを固めたと推定される曲輪といった、七尾城跡の実態や変遷を考える上できわめて重要な遺構について、追加指定されるものである。

- 2 名勝 上時国氏庭園（かみときくにし ていえん）

種別	名勝（平成13年1月29日指定）
所在地	輪島市町野町南時国13字4番地ほか
面積	31,186.74㎡（既指定6,870.04㎡ 追加指定24,316.70㎡）
所有者	個人、輪島市
概要	輪島市東部の山麓に位置する。天保2年（1831）に竣工した上時国家住宅（重要文化財）の庭園である。庭園の周辺には、井戸や水路、ため池、門跡等が残され、背景には、樹林が広がっている。これらは、能登の天領を経営した豪農の風格を感じさせる景観として、庭園と一体的なものと評価され、今回、追加指定されるものである。

- 3 名勝 時国氏庭園（ときくにし ていえん）

種別	名勝（平成13年1月29日指定）
所在地	輪島市町野町西時国2字1番1ほか
面積	13,224.50㎡（既指定5,447.20㎡ 追加指定7,777.30㎡）
所有者	個人、輪島市
概要	輪島市東部の山麓に位置する。寛永11年（1634）頃に建てられた時国家住宅（重要文化財）の庭園である。庭園の周辺には、水路、累代の墓地等が残され、背景には、樹林が広がっている。これらは、能登の加賀藩領を経営した豪農の風格を感じさせる景観として、庭園と一体的なものと評価され、今回、追加指定されるものである。



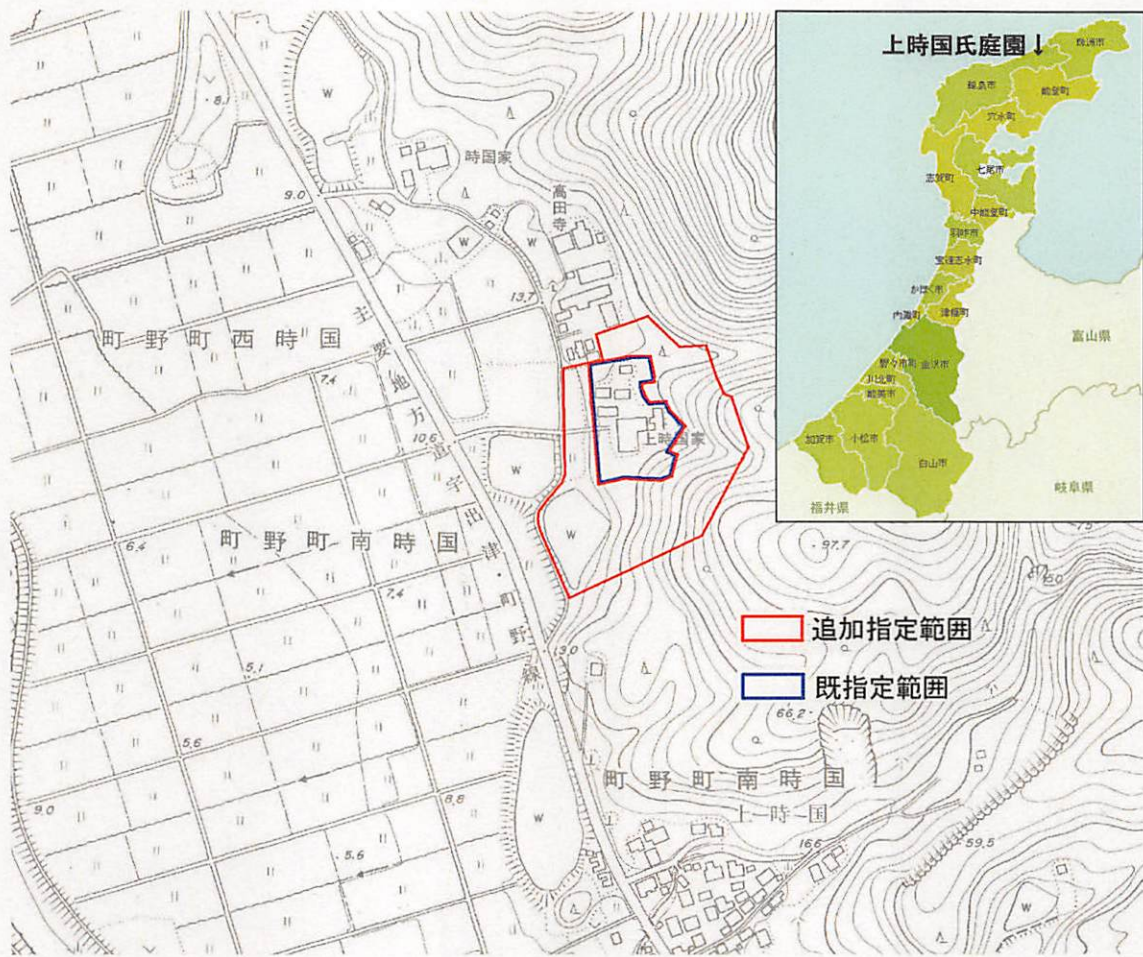
七尾城跡 追加指定位置図



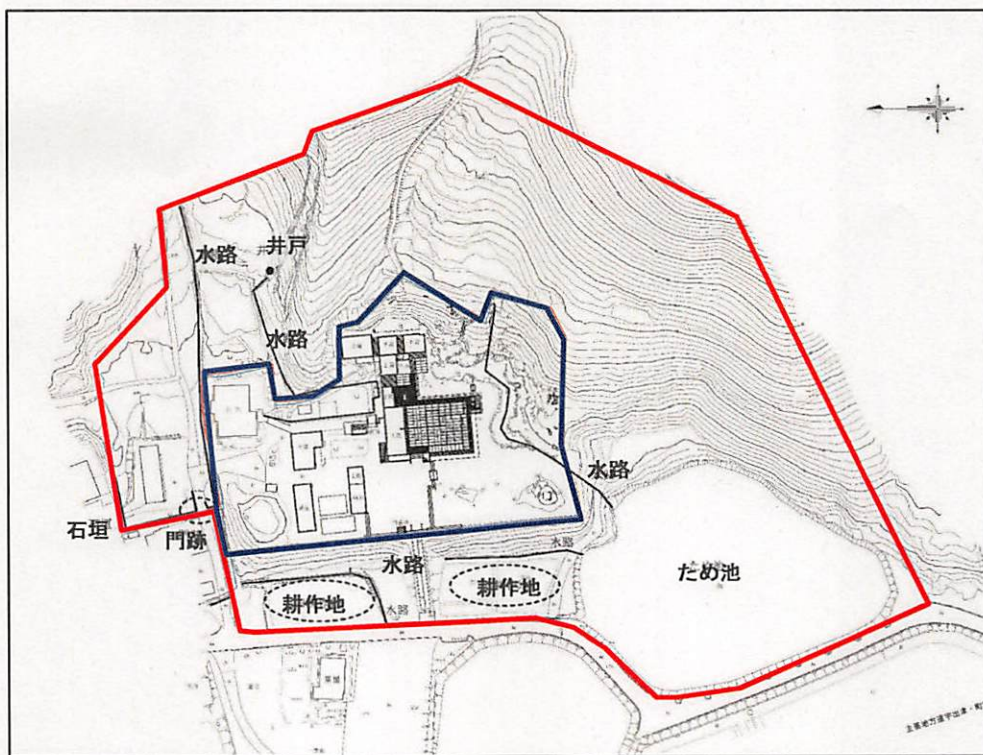
七尾城跡追加指定地 登城道① 発掘調査全景



七尾城跡追加指定地 登城道②



上時国氏庭園 追加指定位置図



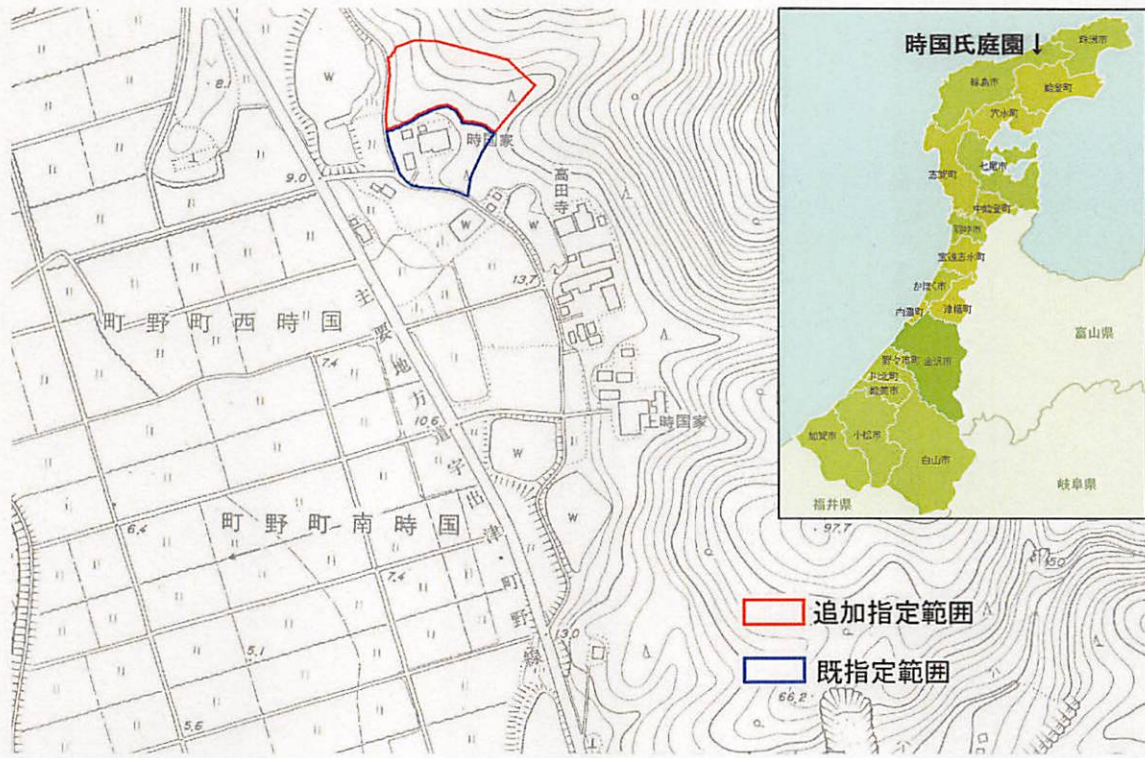
上時国氏庭園 追加指定位置図（詳細）



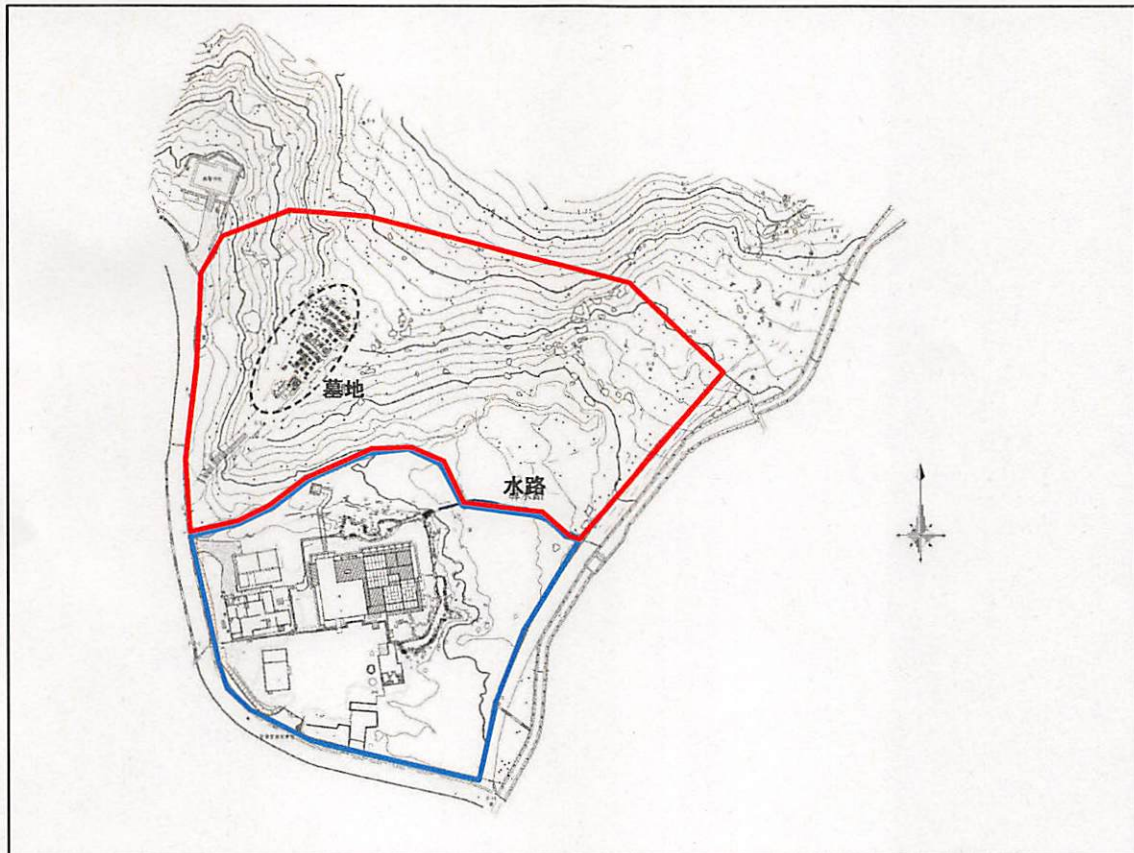
上時国氏庭園追加指定地 門跡・石垣



上時国氏庭園追加指定地 水路



時国氏庭園 追加指定位置図



時国氏庭園 追加指定位置図（詳細）



時国氏庭園追加指定 墓地



時国氏庭園追加指定 水路